人材適性検査プログラム

ASK VER4

活用ガイド

発　行　株式会社 アクセスポイント

〒220-0004 横浜市西区北幸1-4-1天理ビル20F

TEL:045-316-4800（代表） FAX:045-319-8638
http://www.accesspoint.co.jp

目　次

適性テストの必要性 1
ASKの特徴と長所 1
検査を行うにあたっての注意点 2
6つの分析画面、それぞれの特徴 3
グラフ『バランスP、N』の読みとり 4
座標軸の意味 5

6
N：協調性/警戒心欠如 7
NNE：環境順応性/妥協的 8
NE：優柔性/決断力欠如 9
ENE：謙譲性/劣等感 10
E：自省心/懐疑的 11
ESE：規律性/依存的 12
SE：固執性/心理的圧迫 13
SSE：情動性/感情的 14
S：感受性/神経質 15
SSW：自己信頼性/理想主義 16
SW：革新性/衝動的 17
WSW：活動性/性急 18
W：積極性/攻撃的 19
WNW：指導性/自尊心 20
NW：創造性/反発的 21
NNW：社交性/自己顕示

適職座標軸の意味 22
適職分析グラフの特徴 23

適性テストの必要性

■**適材適所**－材は社員、所は課・部署。ミスマッチングを防ぐためにはテクニカルスキルとともに**ヒューマンスキル**を重視しなければなりません。ヒューマンスキルの判断には主観的な面接を補完するためのアセスメントツールによる客観的な分析が必要です。

■**メンタルヘルス対応**－近年の就業環境の著しい変化により、従業員のメンタルヘルス対応が不可欠となってきています。

ASKの特徴と長所

■短時間による処理(通常、検査時間は10分未満。分析は検査終了とともに自動的に完了)
■形のない個性を、目に見える形で表現（個性を可視化）
■トラブルメーカー及びハイパフォーマーを具体的に提示
■職種や環境に対する適応・不適応、また特定の人物に対する相性を客観的に判断。
■分析結果は被験者の良い・悪いを判断するものではなく、**向き・不向き**を判断
■新卒・中途採用支援ツール　（採用適性ランキング/オプション）
■部・支店などグループの特徴を客観的に分析（グループ分析/オプション）
■キャリアガイドライン　（キャリアカウンセリング支援/オプション）
■リスク分析　（人材ビジネス支援）

＜ASKの分析結果から読み取れる事例＞
・仕事に対する**潜在的なモチベーション**（プロ意識）
・約束（契約）を守れるか
・ストレス耐性
・どのような職場（大規模/小規模、華やか/地味、厳しい/甘い、変化が多い/少ない、他）に適するか
・職種の適性はどうか
・向上意識が強いかどうか
・周りの環境に順応しやすいか
・長期的に安定して就業できる可能性があるか
・独立心の強いタイプか
・**トラブル要因**を持つか、またその場合の**具体的内容**は？
他

検査を行うにあたっての注意点

検査を行うにあたっての注意点

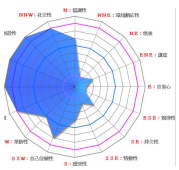
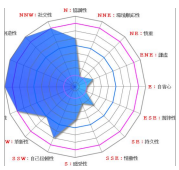
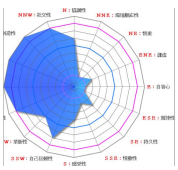
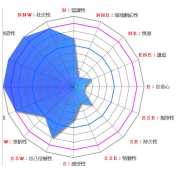
・なるべく疲れていない、平常の状態で行う
・設問に対し、深く考えず直感で答える
・回答はQ（どちらともいえない）をなるべく避け、YES（はい），NO（いいえ）を選択

下記のケースでは有効な分析ができません

・疲労が激しく平常の状態で検査をうけられないとき
・感情的になり冷静に検査をうけられないとき
・検査の際、被験者が集中できないような環境の場合
・Q（どちらともいえない）に片寄って回答した場合
・医者から処方された抗うつ剤等を服用しているとき
・被験者が自分自身を判断できない場合

被験者へのデータの開示について

データを被験者に開示しようとする場合は『アドバイス 』と 『適職分析グラフ』のみとし、その他の分析画面は開示せず、管理者専用とされることをお勧めします。
『バランスP、N、 』、『プロフィール』、『スペシャリティ』の各画面は読み取りの知識がない被験者へ開示した場合、誤解を生じる可能性があります。

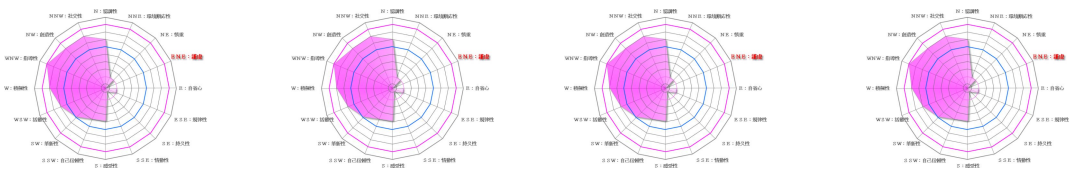
6つの分析画面、それぞれの特徴

3つのグラフと3つのテキスト画面

- バランスP……16の座標軸で個性を分析表示（ポジティブな視点から）
- バランスN……16の座標軸で個性を分析表示（ネガティブな視点から）
- 適職……　職種を8つのグループに分け、適職を%表示
- プロフィール……被験者の個性を5つの項目で大まかに文章で表示
- スペシャリティ……本人の特徴を掘り下げて文章表示。

  Q回答が多すぎたり、回答を偽った可能性がある場合は
  ここに文章で表示されます

- アドバイス……　被験者へのアドバイスを文章表示

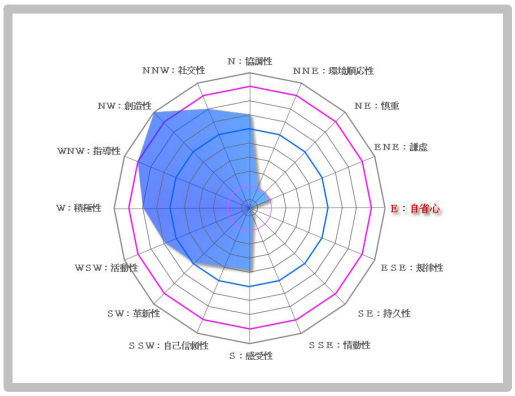


グラフ『バランスP、N』の読みとり 3つの基本と活用方法

グラフ（バランスP，N）はすべての分析において、原則として片寄って表示されます。
そして片寄り方向、片寄りの大小により、職場環境や、仕事への向き不向き、またはストレス耐性などを判断します。各座標軸ともに、どのポイントに位置しても良い悪いはありません。長所＝短所。基本的には長所と短所は同じだけあるという考え方に基づいています。

Ⅰ、グラフの片寄り方向に注目

左への片寄りが大きければ外交的、右は内向的。
上への片寄りは環境への順応の高さを示し、下への片寄りは自己実現意欲の高さを示します。
いずれも片寄りが大きいほどその個性が強いといえます。



Ⅱ、9以上、2以下（ピンクのライン）の座標軸に注目

9以上、2以下の座標軸ポイントは該当する被験者の個性を強く示すポイントです。バランスP、バランスNをあわせてご覧ください。

Ⅲ、隣り合った座標軸との差に注目

隣り合った座標軸間に大きな差(目安として6ポイント以上)がある場合、ものごとを決めたり行動する際、相反した考えが生じ、葛藤のもとになりやすい部分といえます。ストレスの原因になるウィークポイントです。

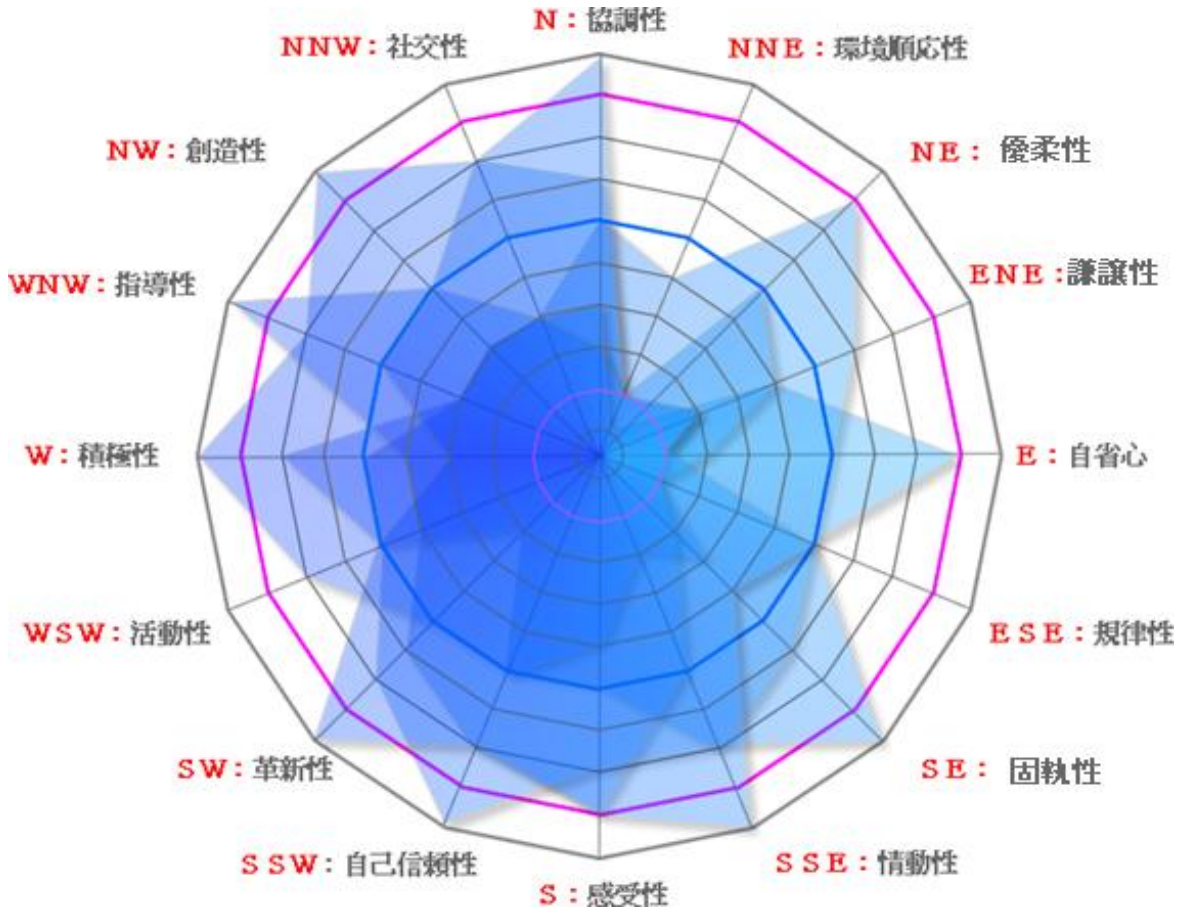
ONE POINT

◆グラフが表示されている際にキーボードの[f・1]キーを押すことによりHELPを起動させることができます。HELPには各座標軸のポイントが大きい場合、小さい場合の特徴が表記されています。

◆グラフが表示されている際に画面上の各座標軸に表示されている座標軸名をマウスでポイントすると該当する座標軸が持っている複数の意味が表示されます。これら複数の表示を含んで座標軸の意味をご理解ください。

◆異なった複数の被験者のデータや同一人物のデーターを比較表示することが可能です。

座標軸の意味

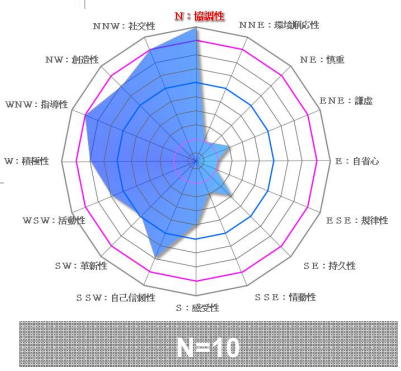


（グラフの読み取りについて）

上記は「バランスP」の座標軸名を表記しています。16の座標軸ごとに代表的な表記がされており、この単語をマウスでポイントすることにより、該当座標軸がもつ複数の意味が表示されます。この複数のことばを含んで座標軸の意味を理解してください。「バランスN」も同様です。

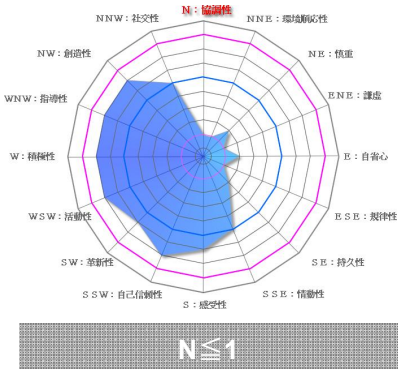
※ASKの分析画面では「バランス」のグラフの左上に《　》で表示されている文字があります。前半(‥的)は精神面を、後半(‥型)は行動面を表します。おおざっぱな分類であるため通常はあまり気にする必要はありませんが《純粋型》または《準純粋型》と表示された場合は少し気にとめる必要があります。好人物ですが周りの人を敵、見方の2通りにハッキリと区別してしまう傾向にあり、また組織の中では些細な部分で周りとズレをおこす可能性もあります。

N：協調性/警戒心欠如



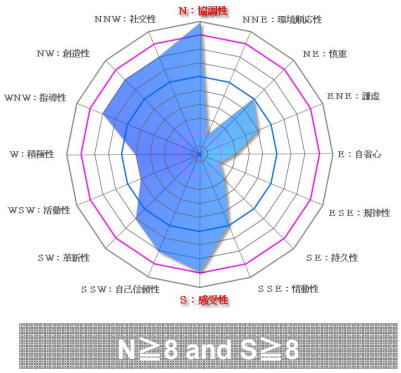
N=10

N(**協調性**)の座標軸ポイントが大きい場合は公平、平等という意識が強く、性善説をベースに人と接する。人を憎んだり恨んだりすることを良しとしない。10ポイントなど著しく大きい場合は周りから常に良く思われたいという欲求が強く、その結果八方美人的な言動が多くなる。周りに不快感を与えることを嫌うため、拒否したり、断ることが苦手。そのため他人からは良い印象を持たれる。心の中に不満があってもそれを口に出さずギリギリまで我慢し、限界を超えると突然折れてしまうようなもろさを持つ。突然出社拒否になるという事例はこのような場合に多い。嫌なことを嫌と言えないため本音を察知する努力が必要である。



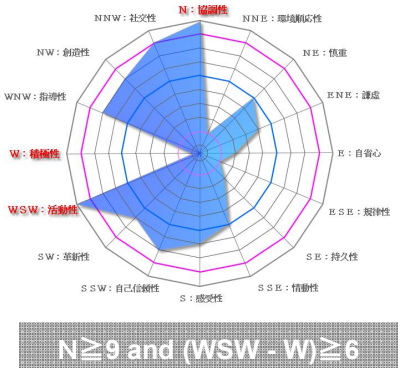
N≦1

N(**協調性**)の座標軸ポイントが3～5ポイントを示す場合、YES、NOの意思表示を率直に示す事ができ、そのためストレスがたまりにくいと考えられる。あまり人に気を使いすぎることがない。さらに1ポイントなど著しく小さい場合は人に対する緊張状態を常に持っており、周りに心を開いて接することが少ない。



N≧8 and S≧8

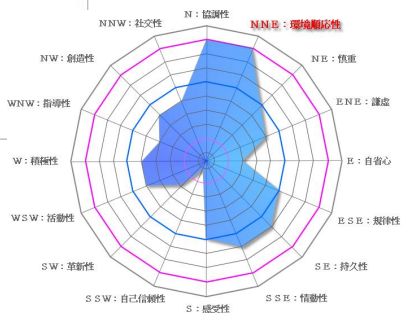
N(**協調性**) とS(**感受性**)がともに極めて大きい場合は繊細で、周りの意向を気にしすぎる傾向が強く、人に本音を知られることを嫌う。ネガティブな発言を口にすることをなるべく避けようとする。



N≧9 and (WSW - W)≧6

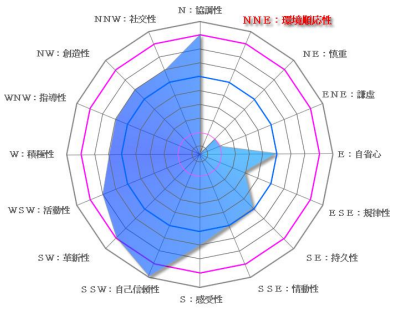
N(**協調性**)が10ポイントなどと極めて大きい状態で、WSW(**活動性**)が極めて大きく、W(**積極的**)極めて小さい組み合わせのような3つの特徴がそろった場合、非常に好人物で周りからの評価も高い人物であるが実際の業務では能力を発揮しにくくミスマッチングになることが多い。注意が必要な波形である。

NNE：環境順応性/妥協的



NNE≧8

NNE（環境順応性）の座標軸ポイントが大きい場合は自分を周りに合わせようとする傾向の強いタイプである(個性が強く出ない)また、環境重視(安定・知名度・環境・人間関係優先)で仕事を選ぶ傾向が強い。物事を客観的に見ることができる。沈着冷静な判断をすることができ、妥協的かつ合理的な考え方をする。



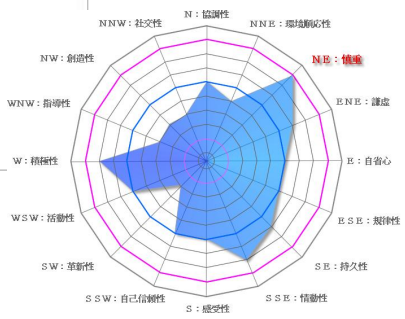
NNE≦2

NNE（環境順応性）の座標軸ポイントが小さい場合は自己中心的な意識が強く、自分の思いで周りを振り回す傾向がある(自己最優先)。また仕事は職場環境等よりも業務内容重視で選択する。思いこみが強く視野が狭くなりがちである。

ONE POINT

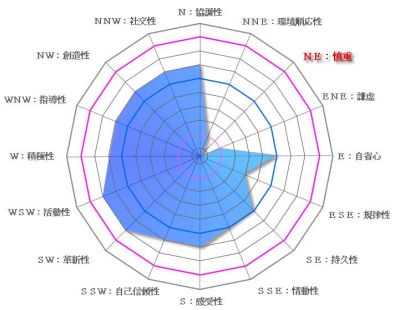
NNE(環境順応性)の座標軸ポイントが大きい人は相手に合わせて行動することが得意です。また相手がどのように考えているかをよく考えます。販売員や旅行添乗員などの接客を伴うサービス業務に向いており、顧客から高評価を得られるでしょう。

NE：優柔性/決断力欠如



NE≧8

NE（**優柔性**）の座標軸ポイントが大きい場合はものごとの判断をじっくり行うため、大きなミスをする確率が低い。一般的に結論を出すまでに人よりも時間がかかる。
判断ミスの許されないような職業に適性がある。



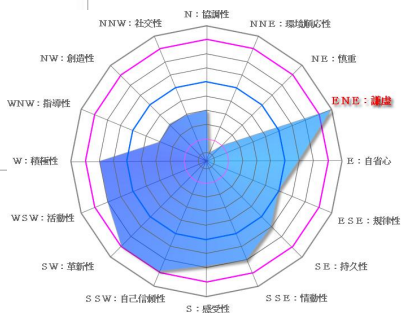
NE≦4

NE（**優柔性**）の座標軸ポイントが0ポイントなど著しく小さい場合は人から頼まれたことを断れない等、人の良い部分がある。また何事においても結論を急ぐ傾向が強く、持続性に欠け、ミスが発生しやすい。

ONE POINT

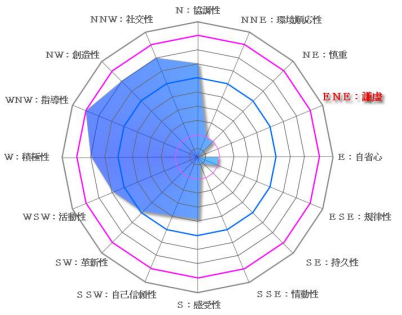
一般的に、ゆっくり考え時間をかけて決めるタイプの人の結論は覆ることは少なく、逆に即断即決をするタイプの人は気が変わることが多いようです。すぐに回答があるとうれしいものですが早すぎるとかえって注意が必要です。

ENE：謙譲性/劣等感



ENE≧8

ENE（謙譲性）の座標軸ポイントが大きい場合は、自分に自信を持てない気持ちをあらわす。場合によっては行動が消極的になり、口数が少なくなる可能性がある。



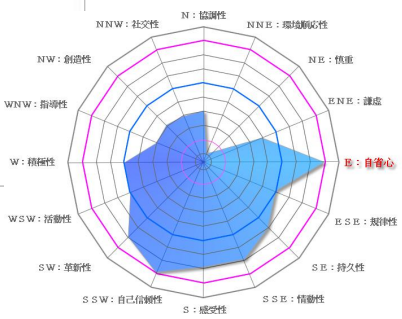
ENE≦4

ENE（謙譲性）の座標軸ポイントが小さい場合は自分に自信があり、行動や発言も明るく積極的になりやすい。

ONE POINT

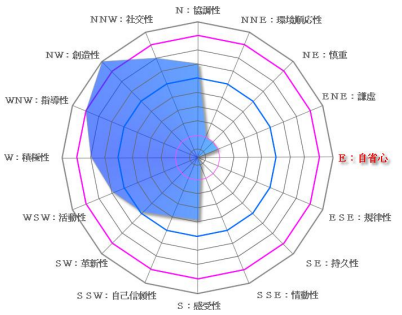
ENE（謙譲性）の座標軸ポイントが大きく、また鋭角に飛び出しているように表示されている場合は心の中に何らかの大きなコンプレックスを持っている可能性があります。面接ではなかなか表に出てこない部分です。

E:自省心/懐疑的



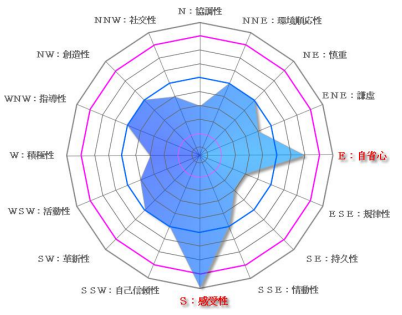
E≧9

E(自省心)の座標軸ポイントが大きい場合は自分の発言や行動に対する反省能力が高い。そのため同じミスを繰り返すことは少なく、失敗してもそれを糧とする。しかし、考えすぎる傾向が強く、必要以上に物事を深読みしてしまうため、人に対してもかなり疑り深い。本音のわからない人物という印象を与えることがある。



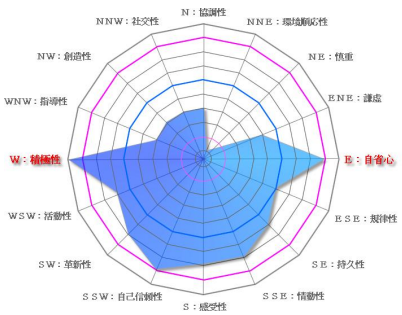
E=0

E(自省心)の座標軸ポイントが0ポイントなど著しく小さい場合は物事を楽観的に考える傾向が強く、悩むことも少ないため周りにも明るい印象を与える。物事にこだわりがなく、ひとつひとつのチェックが甘く、同じ失敗を繰り返したり、時間にルーズになったりすることがある。



E≧8 and S≧8

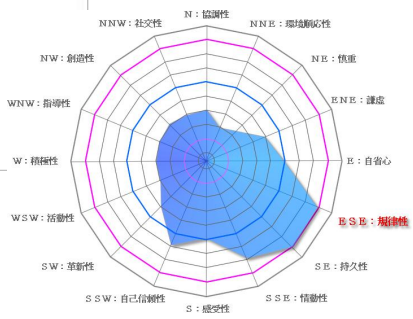
S(感受性)と**E(自省心)**がともに極め大きい組み合わせは本人の能力を超えて著しく無理をさせると精神面でのトラブルになる可能性が高い。



E≧9 and W≧10

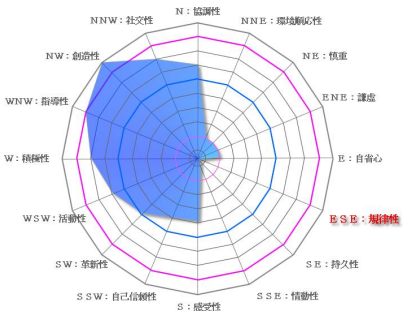
E(自省心)と**W(積極的)**がともに極めて高い場合は懐疑的かつ攻撃的という意味合いをもちます。反社会的な行動をとる可能性もあり注意が必要です

ESE：規律性/依存的



ESE≧7

ESE（規律性）の座標軸ポイントが大きい場合は集団行動を好み、ルールに基づいて行動をする。
著しく大きい場合はルールが無ければ動けないという傾向にあり、自分で判断することを苦手とする。



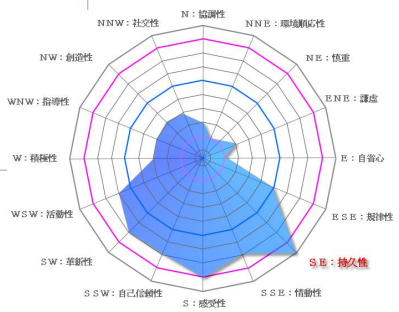
ESE=0

ESE（規律性）の座標軸ポイントが0ポイントなど著しく小さい場合は前例に倣うのを嫌い独自性を出そうとする。列に並んだり指示を待つのを好まないタイプである。時にはルール違反をすることもあるが、人が考えないようなことを思いつくこともある。

ONE POINT

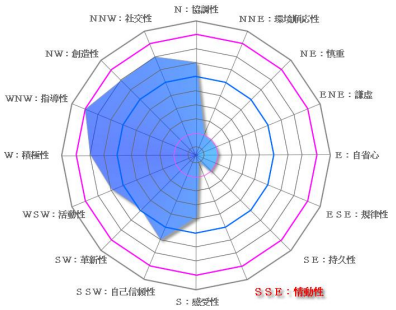
ESE（規律性）の座標軸ポイントは他の座標軸に比べ小さく表示されることが多いようです（被験者の8割が4以下）、反対に稀に極端に大きく表示される場合もあり、この場合は極めて依存的・追従的な心理状態であることを示します。

SE：固執性/心理的圧迫



SE=10

SE（固執性）の座標軸ポイントが大きい場合はプレッシャーを感じやすく、また悲観的になりがち。一方、常に最悪を想定して計画をたてていくため失敗は少ない。まじめで物事を真剣に受け止める。ストレス耐性は弱い。
10ポイントを指している場合は、極めて強いストレスを感じておりメンタル面でのホローが必要。



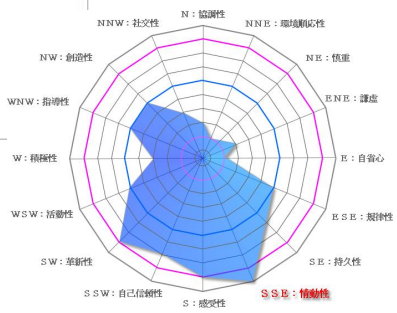
SE=0

SE（固執性）の座標軸ポイントが小さい場合はストレスを感じにくい。追いつめられてもなんとかなるという気持ちでいられることが多く、精神的にはタフといえる。最後の詰めが甘くなるため、あと一息というところに注意が必要である。
極めて小さい場合はプレッシャーに強く楽観的で業務に慣れると小さなミスの頻度が高まる。

ONE POINT

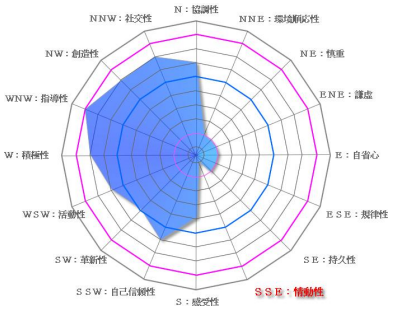
座標軸の各ポイントは複数回検査を行ってもほとんど変化しないのが一般的です。その中では SE（固執性）の座標軸ポイントは比較的変動しやすい座標軸といえます。ストレスを強く感じだすと数値が大きくなり、反対にそのストレスが軽減されると数値が小さくなります。座標軸ポイントが9以上を指し、それが鋭く鋭角に飛び出しているように表示された場合は相当強い抑圧感を感じており、メンタル面でのホローが必要な状態です。

SSE：情動性/感情的



SSE≧8

SSE（情動性）の座標軸ポイントが大きい場合は喜怒哀楽の変化が表れやすく感情が高ぶると涙を見せることも多くなりがち。
気持ちの変化が表に出やすいため著しく大きい場合は周りの人間に負担をかけることもある。しかし気持ちがストレートに顔に出るため周りからは好感をもって見られることも多い。



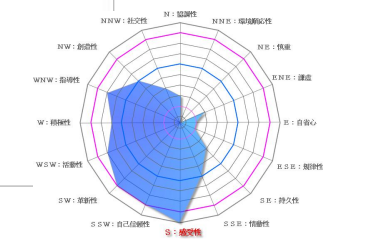
SSE≦3

SSE（情動性）の座標軸ポイントが小さい場合は沈着冷静。落ち着いて行動できる。ドライでクール、ポーカーフェイスという印象を人に与える。

ONE POINT

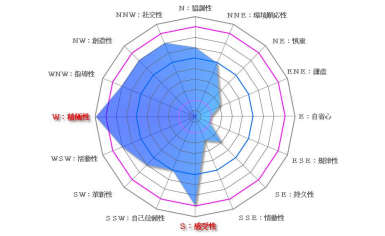
人は外部から情報を得る場合、目からの情報を優先するタイプ、耳からの情報を優先するタイプ、体で感じる情報を優先するタイプの3通りがあります。これらのタイプを理解しておくと相手に情報を伝える際に効果的に伝わります。

S：感受性/神経質



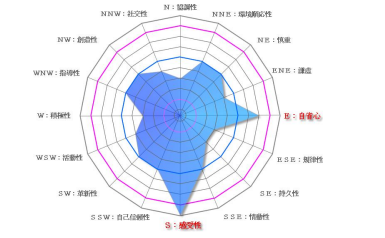
S≧8

S（感受性）の座標軸ポイントが大きい場合は繊細で神経質。感性が豊かで敏感。細かいことにこだわりすぎる神経質な面がある。



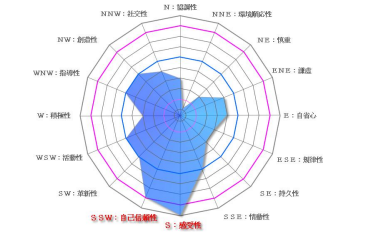
S≧8 and W≧8

S（感受性）が大きく、かつW（積極性）も大きい組み合わせの場合は繊細かつ仕事熱心。仕事が自分の限界を超えても働いてしまうことがあり、その結果、胃潰瘍等、体に障害を起こすことがある。このタイプは自ら無理をしがちなため多忙な際は周りからブレーキをかける等のフォローが必要。



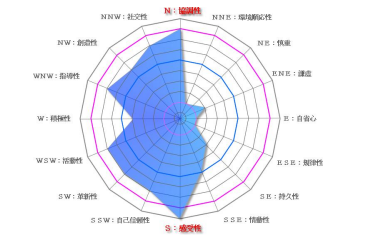
S≧8 and E≧8

S(感受性)とE(自省心)がともに極め大きい組み合わせは本人の能力を超えて著しく無理をさせると精神面でのトラブルになる可能性が高い。



S≧9 and SSW≧8

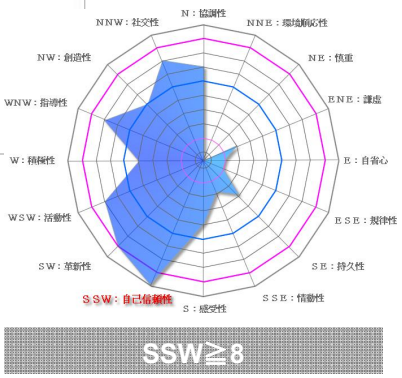
S(感受性)とSSW(自己信頼性)がともに大きい組み合わせは感性が人一倍高く、芸術面で秀でた能力を発揮する可能性がある。



S≧9 and N≧9

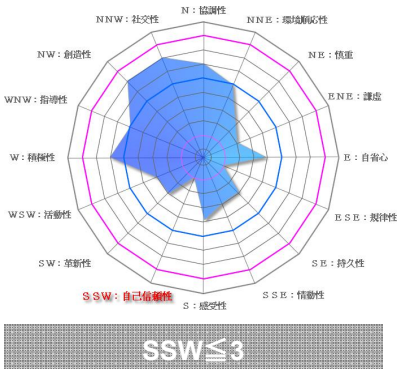
N(協調性) とS(感受性)がともに極めて大きい場合は繊細で、周りの意向を気にしすぎる傾向が強く、口頭ではなかなか本音を語らない。

SSW：自己信頼性/理想主義



SSW≧8

SSW（自己信頼性）の座標軸ポイントが大きい場合は理想が高く妥協を嫌う性質である。芯が強く自分の意見を曲げようとはしない。思い込みが強く一途で自分を高め、環境を改善したいと考えている。満足する事は無く、常に不満を持ち続ける。人とは合う、合わないがはっきりしており、好き嫌いが出やすい。また周りを自分に合わさせようとする傾向が強くわがまま。努力家であるが視野が狭く客観的な判断は苦手である。



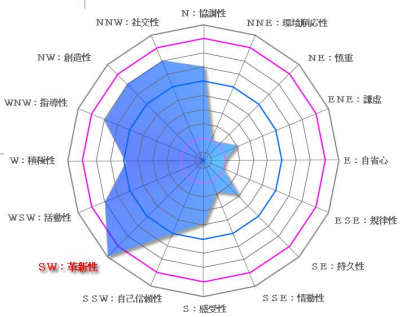
SSW≦3

SSW（自己信頼性）の座標軸ポイントが小さい場合は妥協的で物事に対するこだわりが小さい。現状に満足しやすく、与えられた環境を受け入れやすい。新たな行動をする場合には自分で結論付けるのを避け、誰かに背中を押してもらいたいというタイプである。

ONE POINT

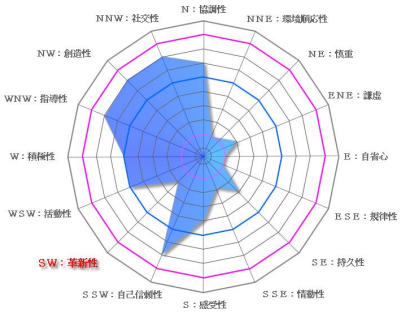
『SSW(自己信頼性)の座標軸ポイントは相性をみるときに便利です。SSW(自己信頼性)の座標軸ポイントが大きい人はグループ内で主導権を持つ傾向があり、小さい人はサブ的な役割を好みます。そのためこの座標軸の大きい人と小さい人の組み合わせはバランスのとれた相性といえるでしょう。年齢、性別に関係なく、SSW(自己信頼性)の座標軸ポイントの大きい方の人が主導権を持つことになります。

SW：革新性/衝動的



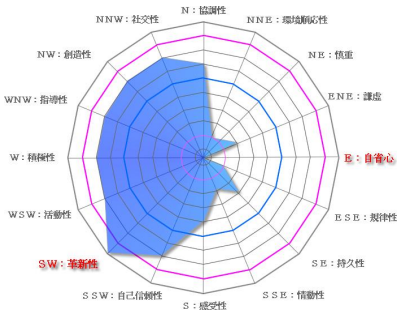
SW≧9

SW（革新性）の座標軸ポイントが大きい場合は好奇心旺盛で変化を求める気持ちが強い。判断が速く結論を出すのも速い。ただしおだてにのりやすくあきらめも早い。持続性に乏しく、気が変わるのも早い。またじっくり考えるのが苦手である。人に対してはきさくに接するため、友人が多く仲間からも人気者になりやすい。



SW≦4

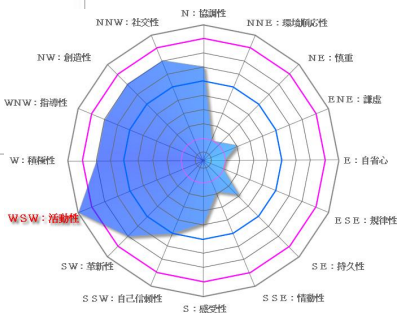
SW（革新性）の座標軸ポイントが小さい場合は、保守的で変化を好まない。じっくりと考え、結論までに時間がかかる。何事においても大きな失敗は少ない。コツコツと積み上げていくような仕事に向いている。グループ内で盛り上がっていても一人冷静に振る舞うような面を持っている。



SW≧9 and E≦2

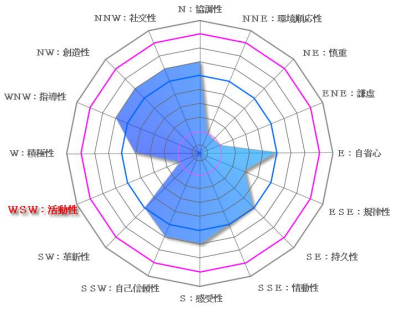
著しく**SW(革新性)**が大きく、**E（自省心）**が小さい組み合わせ場合は時間にルーズになりがち。反省することが苦手で失敗を繰り返しやすく、正確さを求められる業務には不向きである。

WSW：活動性/性急



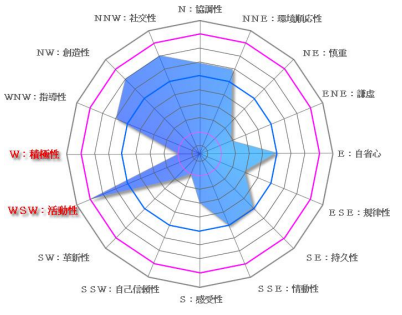
WSW=10

WSW(活動性)の座標軸ポイントが大きい場合は自分に自信があり、何事にも能動的。スピードが速く、テキパキと効率的に動く事が得意である。せっかちで早口。人の話を最後まで聞くことが苦手。そのため相手に緊張感を与えることがある。結論を急ぐあまり、よく考える前に行動してしまうことがある。
この座標軸が10ポイントを示し、それが鋭く鋭角に飛び出しているように表示される場合には自分で仕事をすべて取り込んでしまう傾向が強く、人に任せるのが苦手。



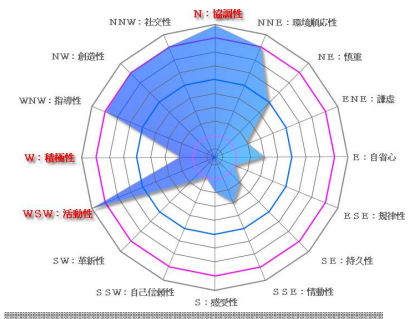
WSW≦3

WSW(活動性)の座標軸ポイントが小さい場合は動きも話し方も緩やかである。著しく小さい場合は動きが緩慢になり、話も長くなる傾向がある。特に電話では長話しになりやすいく、要領が悪い。課題の処理を先送りにする傾向がある。



(WSW - W)≧6

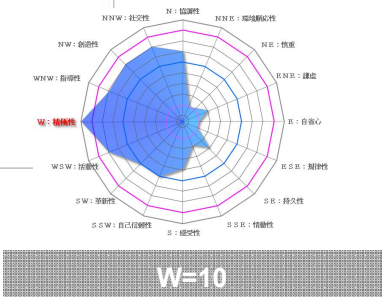
WSW(活動性)が大きく**W(積極的)**が小さい組み合わせで、その差が極端に大きい (目安として6ポイント以上)場合、本人が見せる意気込みに行動が伴わず、気持ちだけが空回りしてしまうことが多い。



(WSW - W)≧6 and N≧9

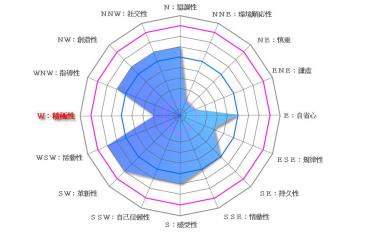
WSW(活動性)が極めて大きく、**W(積極的)**が極めて小さい組み合わせ。さらに加えて**N(協調性)**が極めて大きいという3つの特徴がそろった場合、非常に好人物で周りからの評価も高い人物であるが実際の業務では能力を発揮しにくくミスマッチングになることが多い。注意が必要な波形である。

W:積極性/攻撃的



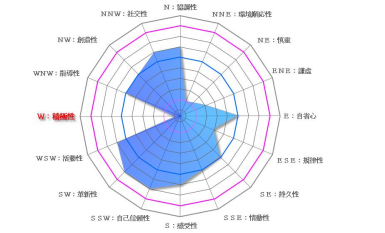
W=10

W(積極性)の座標軸ポイントが大きい場合は仕事への高いモチベーションを示す。忙しい仕事を好む傾向が強いく自己主張も強い。問題、課題は自力で解決しようとする意識が強く数値目標や期限のあるものに意欲を感じ、競争になればさらに力を発揮する。10ポイントなど著しく大きい場合は周りに対しての攻撃性が高く、同一の環境下では人間関係でのトラブルを起こす可能性ある。短期プロジェクト等では高い評価を得ることが多い。



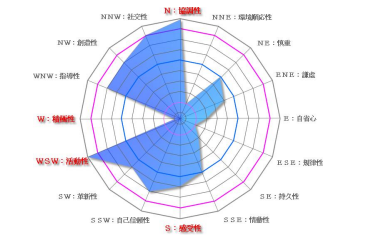
2≦W≦4

W(積極性)の座標軸ポイントが小さい場合は性質が優しく職場でも親しい人たちとグループを作ることが多い。自己には甘くなりがちで厳しさのある職場には馴染まない。受け身の姿勢が多く、仕事は定型業務に適する。仕事よりプライベートを重視する傾向がある。



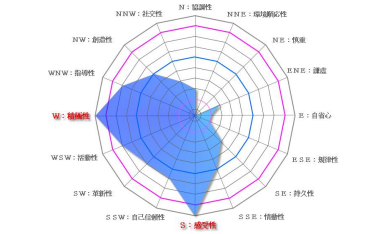
W=0

W(積極性)の座標軸ポイントが著しく小さい場合は公私のケジメが甘くなる傾向があるため注意が必要である。有給休暇など自分の有利になるような権利の主張は多い。他人への依頼心が強く、また強い権力に頼りたがる傾向がある。



(WSW - W)≧6 and N≧9

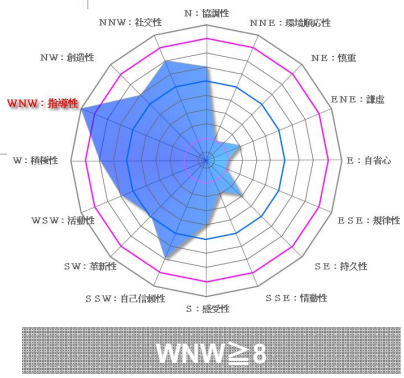
W(積極的)が極めて小さいく、**WSW(活動性)**が極めて大きい組み合わせ。さらに加えて**N(協調性)**が極めて大きいという3つの特徴がそろった場合、非常に好人物で周りからの評価も高い人物であるが実際の業務では能力を発揮しにくくミスマッチングになることが多い。注意が必要な波形である。



W≧8 and S≧8

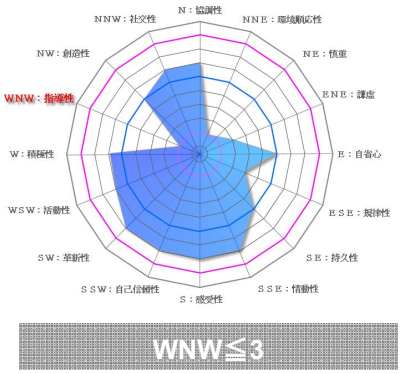
W(積極性)が大きく、かつ**S(感受性)**も大きい組み合わせの場合は繊細かつ仕事熱心。仕事が自分の限界を超えても働いてしまうことがあり、その結果、胃潰瘍等、体に障害を起こすことがある。このタイプは自ら無理をしがちなため多忙な際は周りからブレーキをかける等のフォローが必要。

WNW：指導性/自尊心



WNW≧8

NWN（**指導性**）の座標軸ポイントが大きい場合はリーダシップ意識の強さを表す。コミュニケーションは常に能動的で、人を支配したがる傾向が強い。口数が多く、話し出すと止まらないことがある。
人に頼られるとそれに応えようという意識を強く持つ。自尊心が強く人からの意見を受け入れにくい。



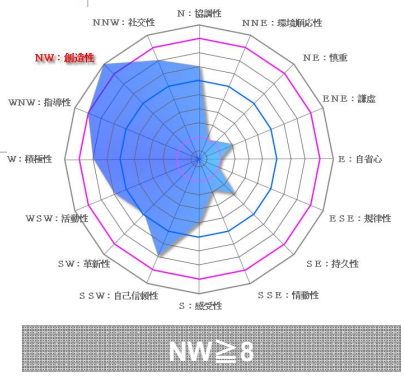
WNW≦3

NWN（**指導性**）の座標軸ポイントが小さい場合は受け身の姿勢が多く、自ら人に話しかけることは苦手。通常は口数も少ない。また他の人の動きに追従する傾向が強い。人の世話をするなど、他人に深く関わることを好まず、そのような業務には適していない。

ONE POINT

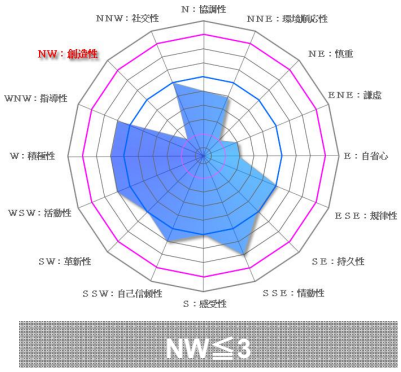
面接の際、質問を繰り返してもなかなか本質が読み取れないことがあります。また自己表現が大げさな人もいれば謙虚に表現する人もいます。口頭での情報の多くは主観的なものです。そのまま受け取るのは公平ではありません。迷ったときには非言語の部分に焦点をあててみると客観的な情報が見えてくることがあります。

NW：創造性/反発的



NW≧8

NW（創造性）の座標軸ポイントが大きい場合は合は自分が主体となり、自分なりの考えで物事を進めていきたいという気持ちが強い。仕事は任された方が力を発揮することができる。我が強く、従来の仕事を引き継いだ場合でも、今までのシステムを自分のカラーに変更してしまいたいというように独自色が強い。一方的な命令には反発しやすい。



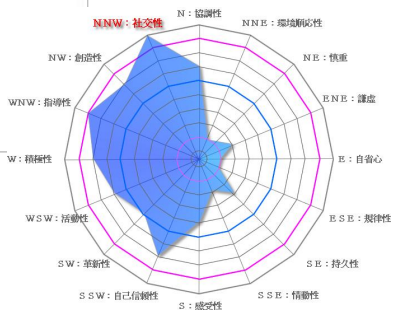
NW≦3

NW（創造性）の座標軸ポイントが小さい場合は受け身で仕事には明確な指示が必要。変化を嫌い、過去の事例に従うことが多い。人からの指示には従順。

ONE POINT

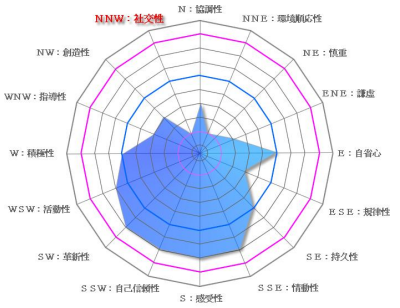
『人は同じ行動を繰り返す』という法則があります。過去の行動パターンを再チェックしておくと、今後起こりうることのヒントが隠れています。

NNW：社交性/自己顕示



NNW≧8

NNW（社交性）の座標軸ポイントが大きい場合は多くの人との接触を好む。人前に出たり、目立ったりすることが好きで知名度の高い職場や華やかな仕事を選択する。人からどう見られるかという点にも意識が高い。



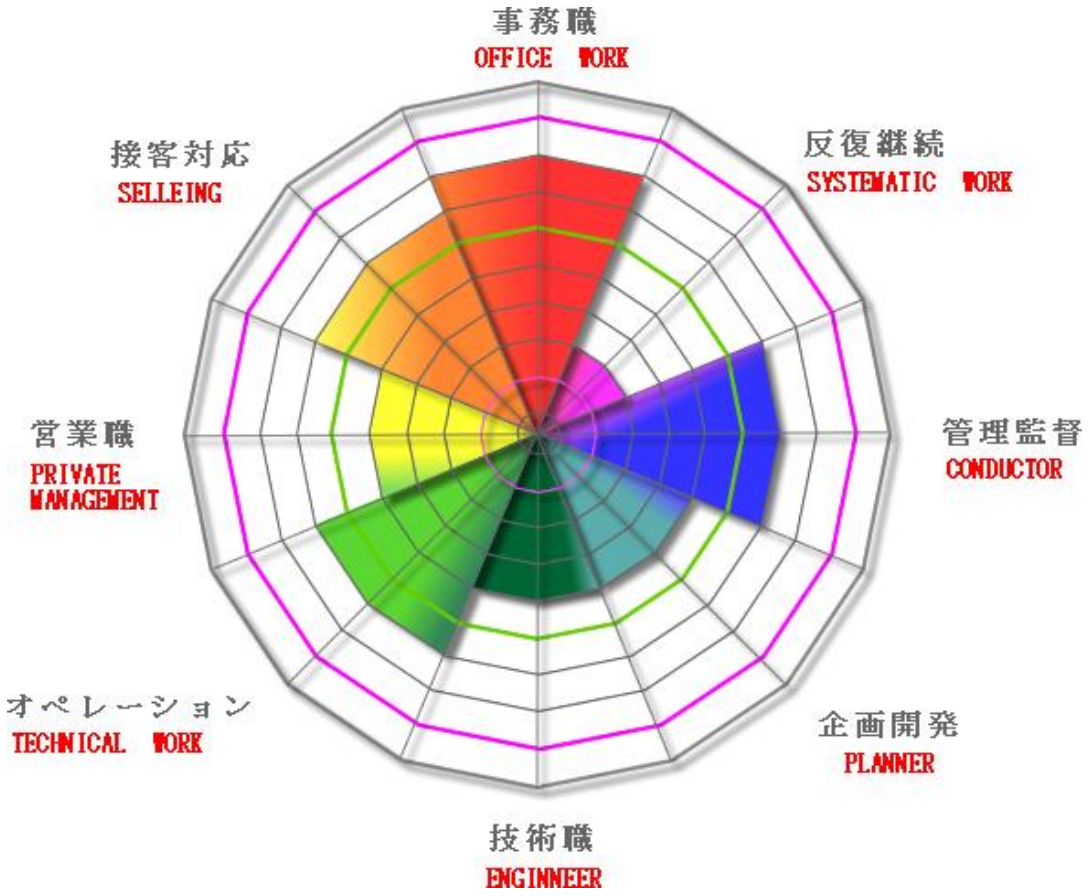
NNW≦3

NNW（社交性）の座標軸ポイントが小さい場合は仕事を一人で黙々とこなすスタイルを好み、人前に出ることは避けたい、という意識が強い。接客や営業職というような業務には向かない。交友関係も狭い範囲での深い付き合いを求める傾向がある。

ONE POINT

NNW（社交性）の座標軸ポイントが大きい人は華やかな場を好むとともに、服装への意識も高いようです。原色やモノトーンなどメリハリのある色の服、シャープなデザインを好みます。反対に小さい人はグレーやベージュなど中間色を選ぶことが多いようです。

適職座標軸の意味



（事務職）　幅広い仕事に対応できる順応性、及び集団行動能力

（反復継続）　仕事に対する従順。保守的で安定感を求める性質

（管理監督）　組織運営と高い管理能力の可能性

（企画開発）　敏感な性質と想像力、好奇心

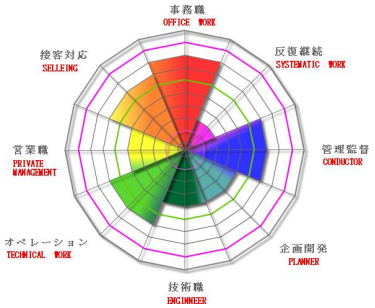
（技術職）　問題意識を持ち、現状に満足しない性質と技術の適性

（オペレーション）　与えられた仕事に対する敏感さ、及び粘り強さ

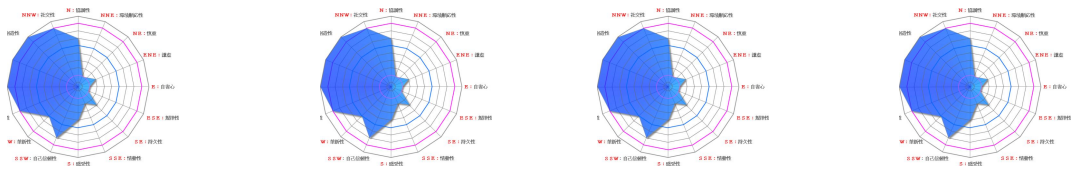
（営業職）　仕事意欲と根性、及び独立開拓精神

（接客対応）　仕事に変化を求める性質と、それに適応する臨機応変さ、及び社交性

適職分析グラフの特徴



- 職種を8つのブロックに分けて表示
- 各ブロックは適性を0～100%の間で%表示、数値が大きいほど職種適性が高い
- 45%を越える程度で職種適性があると判断される
- 通常、8つのうち、ひとつ以上のブロックで45%以上を示す。
- 稀にすべてのブロックで職種適性20%以下を示す事例がある。この場合は過去にしっかりとしたキャリアを積み上げた人物であっても検査を受けた時は精神的なトラブルを抱えている可能性があり、すぐに仕事に就く事ができないことを示唆する。
- ハローワークが取り扱う約300職種に対応
- 座標軸の職種名をポイントすると該当の座標軸がもつ他の職種名が表示される。



適性診断プログラムASK
活 用 ガ イ ド

2011年7月1日　第3版

著　作 ●　株式会社アクセスポイント
〒220-0004　横浜市西区北幸1-4-1　天理ビル20F
http://www.accesspoint.co.jp
TEL:045-316-4800 FAX:045-319-8638

(c)2011accesspoint
本書の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上で例外を除き禁じられております。